

# カンボジア国プノンペン都下水道維持管理能力・浸水対応能力向上プロジェクト（2022年～2024年）



## 世界を驚かせた水道改革、“プノンペンの奇跡”は続く！

\*プロジェクトストーリーにもなりました。詳しくはこちら！  
[【プノンペンの奇跡 世界を驚かせたカンボジアの水道改革】-JICA緒方研究所](#)

- **実施団体：**北九州市上下水道局
- **対象国・地域：**カンボジア国プノンペン都
- **現地カウンターパート**  
プノンペン都公共事業運輸局



- **協力内容：**下水道の運営・維持管理に関する能力向上（管渠維持管理能力、浸水対応能力）に向けた技術移転。
  1. 維持管理のマニュアルの活用を作成し、施設の維持管理や修繕・更新が効率的に実施できるようになるための指導をする。
  2. 住民による浸水対策と行政による浸水対策を現地で実施し、下水道が重要な施設であることを市民啓発として行う。

### ■ 団体のこれまでの取り組み：

- 2017年2月：プノンペン都公共事業運輸局と技術交流に関する覚書の締結
- 2017年2月～2020年1月：  
JICA 草の根技術協力事業「プノンペン都下水・排水施設管理能力向上プロジェクト」実施
- 2019年4月～2023年3月：  
JICA 技術協力事業「プノンペン都庁及び公共事業運輸局下水道管理能力強化プロジェクト」長期専門家派遣
- 2019年11月～2024年7月：  
無償資金協力事業「プノンペン都下水処理場整備プロジェクト」参画

### ■ 事業実施の背景：

都市化に伴う人口増加により、水路や河川、湖沼等への生活排水の流れ込みが増加し、水質悪化や異臭問題等が深刻化。また、ゴミの不法投棄等が原因により水路からの冠水が発生しており、衛生面における生活悪化と浸水被害が同時に起こっている。

## カンボジア国の課題と成果

**課題①** 下水道管の維持管理に関する知見がなく、組織の体制や維持管理に関する予算措置などが十分に取られていなかった。

**成果①** 管渠維持管理マニュアルを作成し、現場での試験運用を経て完成させ、カウンターパートの関係者と共有し、能力向上に繋げることができた！

**課題②** 排水施設管理に対する住民の理解や協力があまりない。

**成果②** カウンターパートが主体となって行政と住民が連携した浸水対策訓練を実施し、浸水被害軽減に向けた市民の意識改革に取り組むことが出来た！

## 事業の波及効果

**！ 実は、国際協力が北九州市にも役立っている！**

- 北九州市の若手職員を、新興国に派遣することで、技術力を磨くことはもちろん、そこに住む人々の目線に立って国際協力をするすることで人間力も身に着けることにつながっています。これは、ひいては国内での災害時派遣や住民へのサービス提供に活かされます。
- 北九州市海外水ビジネス推進協議会と連携し、地元企業の水道関連機器や技術を活用することで、ビジネスチャンスも創出しています。